イ．地元産業界等と連携した実践的なPBL授業

※PBL（Project Based-Learning）：課題解決型学習

【令和8年度】

授業科目名	総合演習A
地域の課題テーマ	地域住民への食育指導の提供
連携先の組織名称	東彼杵町こども健康課健康増進係
授業の実施学科・ コース	地域共生学科 食物栄養コース
授業担当教員	地域共生学科　食物栄養コース　横田章子
授業の単位数・ 開講年次・時期	１単位・ ２年・通年
授業の開講目的	地域社会に必要とされる栄養士の在り方を理解するため、地域の課題を踏まえた食育に関するボランティア活動の企画立案を行い、実施する。活動の中で自身の学修内容の不足に気づき、栄養士に必要な知識や技能について考える機会とする。
授業の具体的な内容	総合演習Aにおいて、地域の課題を検討する機会として、令和8年６月16日に東彼杵町管理栄養士より食物栄養コース２年生に対し講話を行った。その後学生8名が東彼杵町の課題改善のための取り組みに参加した。東彼杵町における栄養食生活面での課題は以下の3点であった。 ①小中学生の朝食欠食が多い（小2 83.3%、中3　87.5%）R7調査結果 ②朝食の内容が主食のみ（小学生41%、中学生26%）等、食べていても十分な栄養摂取ができていない。 ③野菜摂取が236gと少なく、特に子育て世代である20・30・40代女性の野菜摂取量が少ない傾向（長崎県令和３年度調査結果）。 これらを踏まえて、「朝食摂取の必要性について認識を高め、よりバランスの取れた朝食摂取を推進する」ことを目的に、子育て中の保護者・小学生・中学生を対象とした「朝食摂取の必要性に関する講話」と「小学生でも作れるかんたん朝食の調理実習」を学生主体で企画し、令和8年8月18日に東彼杵町総合会館にて「親子で朝ごはんクッキング」を実施した。当日は託児ボランティアとして保育学科・専攻科生2名も参加した。参加者は大人8名、小学生9名、中学生５名、乳幼児2名であった。 参加者からは「参加してよかった」「毎日朝食を食べようと思う」「今後もこのようなイベントに参加したい」との感想があり、意義のある活動となった。
シラバス	※別紙